

科目名	グリーンライフ	単位数	2 単位	学科・学年	森林総合科 科 2 年	
使用教科書	グリーンライフ	農文協	副教材等			
学習目標	農業・農村が持つ多様な機能や魅力を発見し、それらを活用して人々の交流を促し、新たな余暇活動やビジネス、ライフスタイル科目目標の創造について考えながら、心身共に健康で豊かな暮らしや環境保全について理解を深める。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	農業・農村が持つ多様な機能や魅力に関心を持ち、調査や企画立案に意欲的に取り組むとともに、農業生産関心・意欲・態度に関連づけて実践的に取り組もうとする態度を身に付けている。				
	②思考・判断・表現	農業生産と地域の文化や料理などを多面的に考察し、高知県や地域にあった思考・判断 適切なグリーンライフの在り方を判断できる。				
	③技能	農業や農村の多面的な機能や魅力を把握し、市民農園や観光農園・直売所な技能・表現 どの企画、開園、運営などができる基礎的な知識を身に付け、その考察を表現できる。				
	④知識・理解	農業や農村の多面的な機能や魅力の検討やグリーンツーリズムの考え方から知識・理解 グリーンライフの基本的な性質について理解している。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	○			授業態度
発表		○	○	◎		発言
提出		○	○	◎	◎	授業ノート・プリント
定期考査			◎	◎	◎	定期試験
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業では毎時間板書内容をノート、またはプリントに書き写してもらいます。ノートを準備しておいてください。 ○ ノート、またはプリントを時々提出してもらいます。欠席した場合には、休んだ分の内容を提出日までに書き写すようにしてください。 ○ 定期試験前に補習を行う場合があります。 ○ 授業中調査した内容を発表してもらいます。 ○ 授業時に実習を行う場合があります。実習服を常に準備しておいて下さい。 ○ 校外に出て調査研究してもらいます。社会ルールを厳守し、事前準備をしてから臨んでください。 					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1 学 期	4 5	第1章 グリーンライフの世界 「人間生活とグリーンライフ」	10	グリーンライフとは余暇活動であるとともに環境保全や文化・経済を高める活動であることを理解する。	年間を通じて次の学習活動を行います。 【学習状況の観察】 授業展開の中で、その時々々の学習目標に対応した発言、また、技術を習得しようとする積極的な態度が見られるか。 【提出物】 ノートが毎回きちんと整理して書かれているか。また、プリントなどの提出物が期日までに提出されているか。 【定期考査】 指定された範囲の学習を自らが行うことができたか。また、授業内容を正確に理解し、知識として身につけているか。 【その他】 出席状況などを総合的に判断する。
	6 7	第2章 農業・農村の機能の発見と活用 「農業・農村の魅力と『農』の世界を探る」・ 「自然環境と農業・農村の発見・活用」 「地域農産物の発見と栽培・加工」 「農村文化の発見と活用」 「農業・農村体験の企画と指導・援	24	農業の魅力や農村の自然や文化・料理などについて知識を深める。 農業や農村が持つ多面的な機能について理解を深める。	
	9	「農業・農村の機能の総合的な活用」・		地域資源について検討する	
	10		20	世界的なグリーンツーリズムの動きについて理解を深める。	
2 学 期	11	第3章 グリーンツーリズム 「グリーンツーリズムの特徴とあゆみ」 「グリーンツーリズムのおもな取り組み」 「グリーンツーリズムの企画と運営」 「グリーンツーリズムと農業・農村生活の向上」 市民農園 「市民農園の開設と運営」		企画と運営について理解を深める。 今後の可能性について理解を深める。 市民農園の開設と運営について理解を深める。	
	12				
3 学 期	1	第5章 観光農園、直売所 「観光農園の企画・開園と運営」	16	観光農園、直売所の企画・開園、運営について理解を深める。 自分の住んでいる地域の観光農園や直売所について調べる。	
	2				
	3				
			70		